



NPO 法人しえきらり主催シンポジウム

自立援助ホームが開所されて約半年。様々な生きづらさを抱えながらも自立への道を歩む子ども達に、寄り添う場としての活動が始まりましたが、今も模索中です。

制度を整えつつ、さらに大切にしていきたいこと。

それは子ども達目線で、子ども達が困っていること、子ども達が語ることをキャッチできる社会がひろがること。今回、特に思春期に焦点をあてて、家庭、社会の中で揺さぶられながら、子ども達が、どのような現実を生活しているのか、各方面の専門家から話を伺いたいと思います。子ども達の傷つきを感じ、そして寄り添えるために、学びを深め、考え、自分の言葉にする、そんな会にしたいと思います。一緒に私たち一人ひとりができることを語り合いませんか。

子ども達の傷つきに向き合うということ

1. 話題提供 報告 子ども達と向き合う現場から

- 西上純一先生 (元中学校校長)
- 常盤秀樹氏 (児童相談所職員)
- 佐道 寛氏 (児童養護施設職員)
- 森 昭憲先生 (児童精神科医)

2. グループディスカッション

ファシリテーター：本田徹先生 (精神科医、ほんだクリニック) (予定)

沼田直子 (シェきらり理事、小児科医、県南加賀保健福祉センター)

日時：平成 30 年 7 月 7 日 (土) 13:30~16:30 (受付開始・開場 13:15)

場所：金沢弁護士会館 (金沢市丸の内 7-36、裁判所となり)

(お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください)

参加費：無料

連絡先：シェきらり専用携帯 090-1390-8195

主催：NPO 法人シェきらり

後援：石川県、金沢市、金沢弁護士会、石川県社会福祉士会、石川県児童養護施設協議会、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット「SDGs いしかわ・かなざわダイアログ」

支援：公益財団法人キリン福祉財団【キリン・地域のちから応援事業】

このイベントは国連持続可能な開発目標のゴール1「貧困をなくそう」に貢献しています。

